

みなさんいかがお過ごしですか？すっかり秋らしくなってきました♪文化祭など行事が多くある季節でもありますね、短い秋ですが楽しみましょう♪季節の変わり目は体調を崩しやすいのでくれぐれも注意してくださいね〜♪

## 新人研修



救急救命研修が9月に行われました。今回はパート2と言う事でパート1での学びを活かし、ステップアップした内容で行われました。心肺停止状態の患者さんを発見した時から医療処置の準備介助方法まで一連の流れを確認しました。

研修で学んだ事を活かせるように、定期的にシミュレーションをしていきたい。急変の場面になった時少しでも動けるようにしたい。手順を復習しなければいけないと思った。冷静に判断し動けるようになりたい。などの学びや、感想がありました。

今後は多重課題が発生したとき優先順位を考えられるか、どのように対応していくかの実践的な研修が行われます。一年生ナースのさらなる成長が楽しみです。

## 救急の日表彰



9月9日は救急の日、救急業務協力者の表彰のため志村消防署の副所長さんから感謝状が手渡されました。外来Nsの優しさあふれる対応や救急車の受け入れを断らず行ってきた結果が表彰につながりました。これからも救急対応ははじめ患者さんが安心して受診できるように頑張ります！

# 奨学生を募集しています!!



小豆沢病院の奨学生制度はお金だけの関係ではなく、毎月奨学金を受けている学生が同じ日に集まり学校での悩みや今やっていることなどを報告したり、医療の情勢を学んだりしています。奨学生になる時期や学校はバラバラですが将来同じ病院で働く仲間として学生時代からの関わりを大切にしています。

### 奨学金説明会 10時~11時

## 10/22(土)

事前にお問い合わせください

## 祭「さつき祭」に看護学生・高校生参加!

小豆沢病院と同じ法人の老人保健施設志村さつき苑で9/18(日)「さつき祭」が開催されました。ボランティアとして看護学生、看護師を目指す高校生の参加があり、療養中の利用者さまやご家族、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。利用者さまの車いす送迎やお話相手、喫茶コーナーでの豚汁やコーヒーの提供などを行いました。



職員の方が笑顔で、利用者さんと一緒に楽しんでいる姿がとても良かったです。

浴衣やハッピーなどを職員の方が着てお祭りという雰囲気が出ていました。利用者さんの笑顔が印象に残りました。

職員の方が丁寧に教えてくれたので、緊張せずに対応できました。



# 土曜講座

くすりの話  
スティーブンス・ジョンソン症候群とは掲載

日程	メニュー	講師
4/16	フィジカルアセスメント(血圧測定) ベッドメイキング	看護師
5/21	採血の実践	看護師
6/18	オムツ交換、陰部洗浄の実践	看護師、介護福祉士
9/17	公開講座「気になる患者さん訪問」	看護師
10/15	認知症について学ぼう	看護師・介護福祉士
12/17	採血の実践	看護師
1/21	糖尿病について学ぼう・栄養指導の実際	看護師・栄養士
2/18	口腔ケアについて	歯科衛生士

## 10月15日は 認知症について学ぼう

認知症の患者さんは、高齢化とともに増加傾向にあります。当院にも認知症の患者さんが多く入院されており、日々のケアを行っています。認知症患者さんに適した関わり方は奥深く学びが多くあります。今回は認知症がどのような病気なのか学び、認知症の患者さんと交流する内容とします。実習などに活かしてくださいね♪

**13:50小豆沢病院外来集合** (開始14時～16時30分)

電話かメールで参加しますと伝えるだけです。当日は動きやすい服装と筆記用具持参で参加してください。

資料の準備などがあるため**10/11(火)12時までに申し込みお願いします。**

電話:03-3968-7993(看護学生室直通 担当者:村上、峠)

メール:kangakusei@kenbun.or.jp

学校名、学年、名前を記入し土曜講座参加とメールしてください。

**全てのお申込、お問合せは小豆沢病院学生室(村上・峠)まで**

直通TEL:03-3968-7993 E-mail:kangakusei@kenbun.or.jp

携帯TEL:080-1236-0698

小豆沢病院学生室は看護学生の応援をする事で、将来一人でも多くの看護師が誕生する事を願っています。そのために看護体験や土曜講座など様々な企画を行ない、通信を中心にして参加を呼びかけています。また、それ以外にこちらから病院及び関連施設におけるボランティアのご協力をお願いする事もあります。皆さんの個人情報はそのための為に活用しています。

お申し出があった時には通信の停止、名簿からの削除を速やかに行ないます。



あなたと民医連をつなぐ月刊誌『いつでも元気』より☆誰でも定期購読が可能です、お問い合わせください。